

平成 23 年度

文化庁映画賞 映画功労部門 受賞



高嶋利雄（たかしま としお）

北辰電機製作所での勤務を経て、昭和 20 年東宝撮影所に入社し、照明助手となる。昭和 32 年豊田四郎監督の「夕凧」で照明技師を務めて以降、岡本喜八、本多猪四郎、千葉泰樹、古沢憲吾、堀川弘道、森谷司郎監督などの東宝 54 作品の照明技師を担当した。

昭和 44 年日本映画照明技術者協会（現 日本映画テレビ照明協会）の発足に際しては出版担当の理事となり、機関誌「映画照明」（現 「映像照明」）の発行に尽力した。平成 2 年から平成 5 年までは事務局長を務め、協会運営に手腕を発揮した。

また、日本映画学校（現 日本映画大学）で講師を務めるなど、後輩の育成にも力を尽くした。

主な担当作品に、昭和 33 年「結婚のすべて」（監督：岡本喜八） 昭和 36 年「モスラ」（監督：本多猪四郎） 昭和 36 年「二人の息子」（監督：千葉泰樹） 昭和 37 年「キングコング対ゴジラ」（監督：本多猪四郎） 昭和 39 年「君も出世ができる」（監督：須川栄三） 昭和 43 年「さらばモスクワ愚連隊」（監督：堀川弘道） 昭和 46 年「潮騒」（監督：森谷司郎） 昭和 52 年「八甲田山」（監督：森谷司郎） などがある。

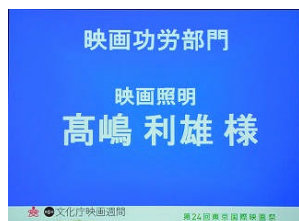
昭和 59 年度日本映画照明技術者協会 第 8 回協会賞受賞

（映像照明 25 号までの編集により）

平成 3 年度日本映画テレビ技術協会 第 24 回増谷賞受賞

平成 5 年度日本映画照明技術者協会 第 17 回協会賞受賞

（協会発展に尽くされた功績に対し）



表彰式会場で投影されたスライド